

高田

一〇七三。馬場守備隊以下四八名陣地備付等々

一〇七四。大出隊隊一七三。自隊隊又

一三才軍備以下二名高嶺陣地隊留隊。馬

具。薪送ノタメ即日自隊ノ予定ヲ以テ出張

セシム

廿日入隊 將校三 兵一八 兵一〇七

馬場 鞍馬 九頭

日直勤務

百一十

同下三宮

高田駐屯隊本部陣地備付隊員等々

追々二名陣地隊員等々

操縦隊輸送ノタメ高田二、輜重車三、テ球第

九七〇。自隊隊員等々

高田

廿二日

上野

廿二日

高田

圖

五月二十日

日曜

晴

常山

松平定綱 松平定房 松平定房 松平定房

松平定房 松平定房 松平定房 松平定房

松平定房 松平定房 松平定房 松平定房

松平定房 松平定房 松平定房 松平定房

松平定房

日 松平定房

同 松平定房

對面監視哨

松平定房

松平定房

松平定房

松平定房

松平定房

一。松平定房 松平定房 松平定房 松平定房

二。松平定房 松平定房 松平定房 松平定房

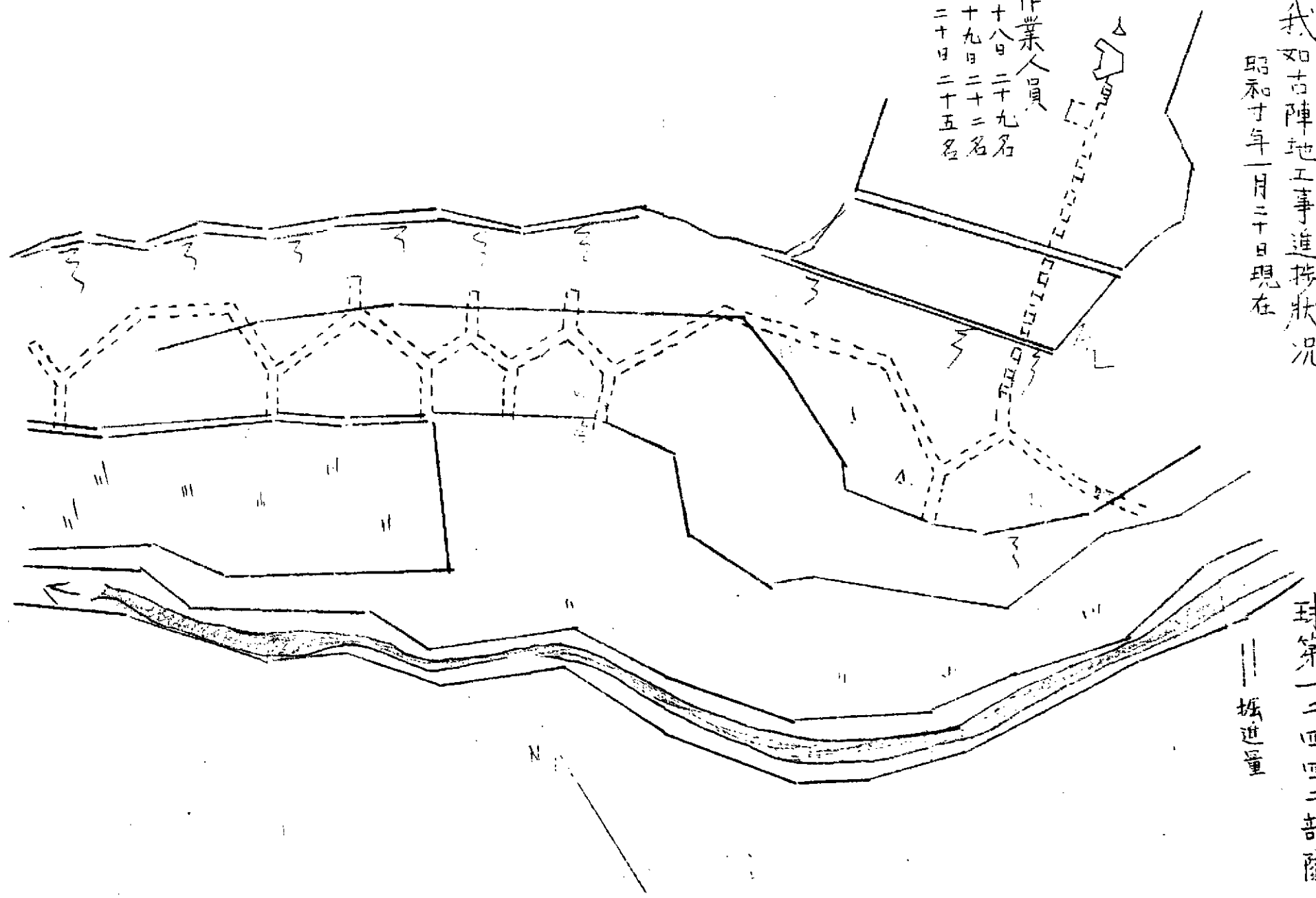
五月二十日 常山

松平定房

一二一。空能表  
一二二。空能表  
一二三。空能表  
一二四。空能表

我如古陣地工事進捗状況  
昭和十一年一月二十日現在

作業人員  
十八日二十九名  
十九日二十二名  
二十日二十五名



球第一二四回二部隊  
|| 掘進量



警

月十二日

月曜日

晴

當山

一 野口少尉以下四十八名陣地構築作業ニ精進ス

二 田中正夫一等兵陣地陸軍病院ニ入院中ニ處奉日邊復役歸ス

本日人員 將校三 准下一八 兵一九  
馬匹 鞍馬 七頭

獨立迫撃隊第九中隊命令

一〇六五〇宮内省警務司報發令ケラレ

二 中隊直ニ乙号戦備ニ移行セトス

三 陸軍馬目 河井 強

同上等兵 笠原 央

同一等兵 村崎 大五郎

同 中本 増三

同 平田 民夫





晴  
當山

一 中隊、魚態勢ニ復歸スベシ  
二 對空監視哨、直ニ撤收スベシ  
日直勤務

日直士官

松下軍曹

同 下士官

渡辺兵長

一〇七三。野口少尉以下四八名陣地構築ノ夕  
メ兩路官地出發一七三〇歸隊ス

二六二〇。警戒戒嚴報解除

本日人員 騎兵三 進一八 兵一〇九

馬匹

鞍馬

七頭

迫撃隊第三大隊命令(迫撃隊甲第十六号)

一 大隊、作業隊ヲ以テ依然我如古、嘉敷陣地  
ノ構築作業ヲ續行スルト共ニ爾後ノ陣地備  
修作業ヲ準備セシム

月二十四日  
水曜日  
晴  
當山

一 各隊指揮機關、明二十五日夕刻迄ニ夫々原駐  
地ニ歸還スベシ

二 資材其他ノ輸送ニ関シテ、別ニ示ス

三 各隊ノ將校ヲ長トシ兵力概テ七〇名ヲ以テ

作業隊ヲ編成シ依然構築作業ヲ續行ス

ベシ

作業隊駐留間、片山中尉區處スベシ

四 大隊通信班、明二十五日夕刻迄ニ高嶺PO――

作業隊間ノ通信線ヲ構成スベシ

五 余、明二十五日夕迄ニ高嶺大隊本部ニ歸還

ス

独立迫撃隊第九中隊命令

一 中隊、迫撃隊第十六号ニ基キ作業隊ヲ以  
テ依然我如古、嘉敷陣地ノ構築作業ヲ

削  
醫

續行スルト共ニ爾後ノ陣地掃蕩ノ作業ヲ進テ  
備セシム

二村上准尉ハ明ニ五日夕迄ニ山下伍長以下兵五  
ヲ指揮シ高嶺陣地ヲ歸還ニ中隊專攻力

ニ任セラル

三出役並歸還後ノ細部ニ関シテハ副ニ任ス

四余ハ依然常山ニ在リテ作業場ヲ指揮ス

日直勤務

日直士官 村上准尉

同下士官 河井軍曹

一我知ヨシ嘉敷陣地掃蕩ノ作業進捗状況並

ニ参加ノ員別紙ノ通り

本日ノ員 將校三 准下二 兵一〇九

醫

馬

馬

此石古陣地ノ掃蕩ノ作業ニ関シテハ  
此ノ如キニ可成



署

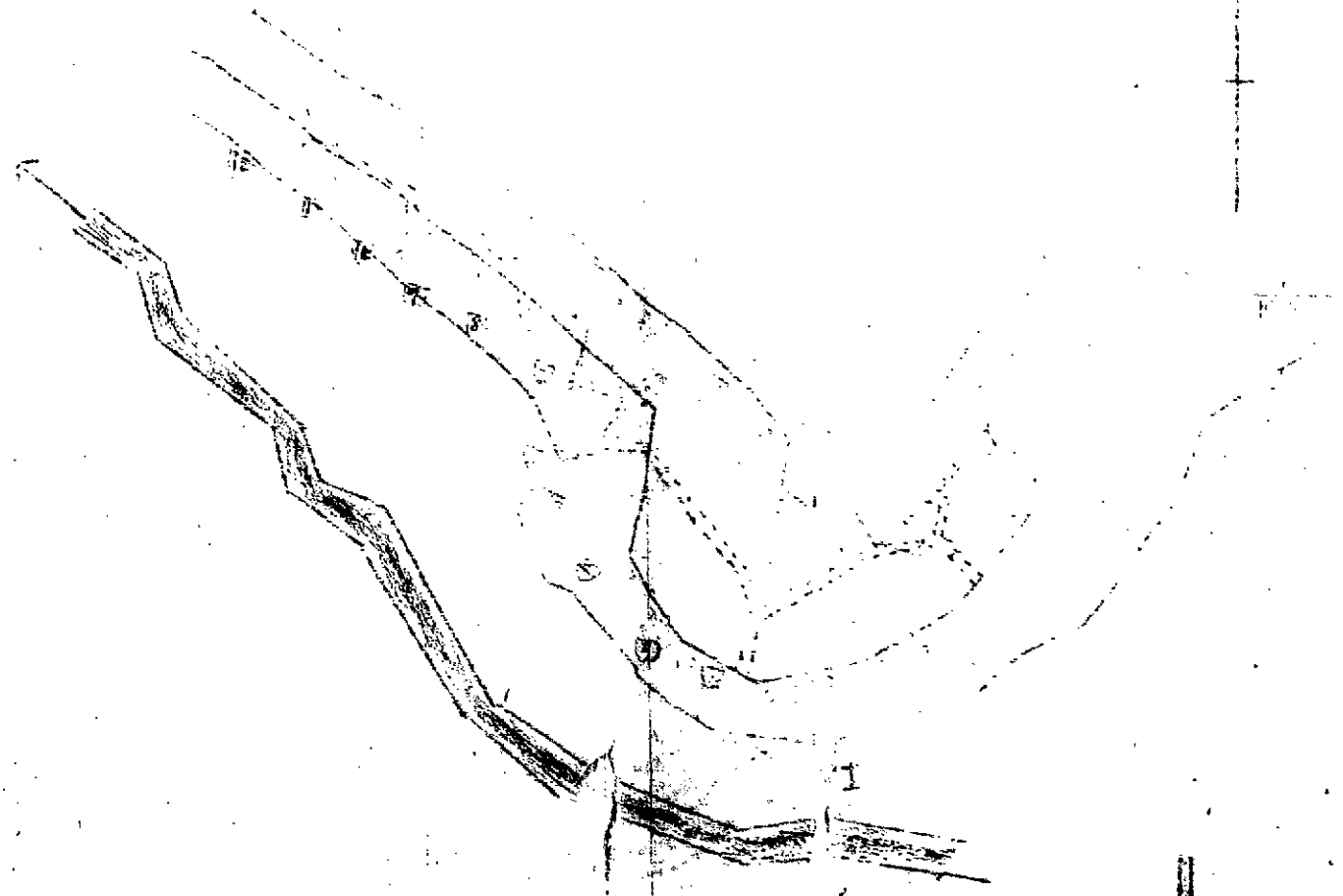
我知古... 地... 通...

參加員別紙通

本日員將交三... 年一〇九

我知古... 署

...



...

月三十一日

不晴

晴

當山

道中隊第二大隊命令(道中隊命令第四号)

一、軍第四十九兵站地(區隊長ヲシテ馬匹ヲ徵發

軍直轄部隊ニ交付セシム

二、大隊ニ轉馬四〇頭ノ交付ヲ受ケ増加配屬馬

ヲ充テ得ルセトス

三、各中隊ニ之ガ受領ノ爲メ下士官一、隊兵一〇ヲ

差出スル

四、堀江少尉ノ前項人員ヲ指揮シ一月二十八日正午迄

ニ讀谷山村古堅國民學校ニ到リ第五砲兵司

令部大木與匠少尉ノ指示ヲ受ケ馬匹ヲ受領

スル

五、細部ニ関シテハ明后二十七日堀江少尉ヲシテ指

示セシム

日直勤務

日直士官

松下軍曹

同下士官

近藤伍長

一〇十三。野口少尉以下四十五名陣地構築作業

ノメノ露骨地出發一七三〇騎隊

作業概ニテ計通過リ進捗ヲ巡リ其ノ七令

通り概成リ見タリ

中隊ハ迫ニ作命甲第十六号ノ第三項ニ其ノ村

上准尉以下七名ニ向領陣地ニ歸還セシメ中隊

十事形カニ任セシム

東口人員 將校三 准一八 兵一〇九

馬下 鞍馬 七頭

独ニ迫ニ作命第九口隊命令

一中隊ハ迫ニ作命一内ノ第四号ニ其ノ鞍馬十頭

月三六日  
金曜  
日



隊第三口ニ部隊

日直士官

月二十六日  
金龍日

馬下 轉馬 七頭

轉馬第九中隊命令

中隊二白二作命 丙第四是二其半 轉馬十頭

嘉慶陣地 在業進博狀况 隊第一面四三部隊

地... ..

|| 振連連



高嶺

二三本軍曹、馬込受領、兵十名、指揮

二明治二十八日、三〇、高嶺、其出發、八〇〇馬

場、即度、同一、三〇、江、少尉、指揮、

入、二、

日直勤務

日直十官 村上 准尉

同 下士官 小畑 軍曹

一高山ニ於テ、作業隊、少尉以下五十名

〇七三、陣地構築、作業多ク、一隊、當地、出發

我々、士、嘉数、兩陣地、構築ニ從事、一七三〇

部隊、

全自、志、気、旺、盛、ニ、陣地、完成、急、カ

一高嶺陣地ニ於テ、村上准尉以下全員、協力

以テ陣地、構築、材、資、材、並、三角、兵、舎、建築、本、次、員

署

一 高嶺 茅竹 一 鬼集ニ勉ム  
 一 月七日以後 高嶺 陸地ニ於テル 山本軍曹以  
 下 殘留 東大井 西走 茅及竹ノ 鬼集ニ 敢カ  
 ヲ 相高ノ 敷ノ 資材ヲ 得ルレドモ 輜重車ノ 大半  
 一 第一 次 陸地 構築 作業ノ タメ 高嶺山ニ 於テ  
 使用ニ 居リ 高嶺 馬車 使用ニ 軍ニ 於テ 統制  
 力ニ 入リ 使用 出来 得ザル 現状ニ テ 其ノ 運搬  
 二 非常 困難ニ 入カニ テ 三 薪 田 料ヲ 運搬シ  
 居ル 現状ナリ  
 一 陸軍 一 兵 生元 良 光 道ニ 六日 命 第六十五号  
 二 陸軍 一 兵 砲兵 隊ノ 團頭ニ 於テ 築城 材料  
 ノ 代 採 送 送 強化 多ノ 出張 セシム  
 本日ノ 人員 將校 三 准下一八 兵一〇八  
 馬五 騾馬 七頭

十月十七日

土曜日

時

高嶺

日直勤務

日直士官 松下 軍曹  
 同 三 官 松尾 伍長  
 一 第一 次 陸地 構築 作業 隊 野々口 小尉 以下 四十  
 七名 作業ノ タメ 三〇 高嶺 陸地 出發 一八〇 歸  
 隊ス  
 一 第二 軍曹 以下 四〇名 作業ヨリ 歸隊 後 現地ニ 於  
 テ 鬼集 七二 三角 兵舎 建築 資材ニ 露骨 地  
 一 高嶺山ニ 運搬 二〇〇 終了ス  
 一 第一 小隊 第三 小隊 構築 作業 中 坑道 内 落盤  
 セル 人員 二 異状 ナシ  
 又 日ノ 隊ヨリ 一名 宛 傷心 投坑道 内ノ 除土 作業ニ  
 参加 セシム  
 本日ノ 人員 將校 三 准下一八 兵一〇八

署



日三十一日 日

晴

高嶺

馬山 七頭

白直上首

村二 陸尉

司 六士官

山 中 直曹

一 野山少部以下作業隊一三四名、陸地掃蕩  
力ノ七〇〇 露音當地出之役一七四〇 組隊又

各分隊共作業、概ニ不同程度ニ進捗ス

一 二三〇名一陸地掃蕩隊ニ於テハ、陸地掃蕩ノ作  
業及進捗状況ヲ報告スルニ、町上准尉高嶺

陣地出發一七五〇 野隊又

一月六日追二作命日第九号ニ基キ中隊ノ主  
力ハ第二次陣地掃蕩ヲタメシメ、我部百、高嶺

敷附近ニ於テ作業中ニテハ、計算ヲ陸地掃蕩

一 續行ニ居ルニ、業城村ヨリ陸地掃蕩ノ

配當毎旦、掃蕩隊ニシテ、作業ニ従事スルガ故

看、概シ自ラ及、人ノ過、三割ニ進歩ニシテ、用

三 村動員係ノ、掃蕩ノ、全員出動

射止セルヲ、井、成績、掃蕩ノ、全員出動

一 馬場屋領ノ、三ノ、屋敷、以、一、名、讀、山、村

吉野國民学校ニ出張セシム

左記ノ、掃蕩ノ、高嶺ノ、受領

左記

戦馬 十頭

本日ノ人員 將校三、進、一、一、一

馬匹 戰馬 一七頭

追擊第三大隊命令

大隊、北ノ陣地ニシテ、進入掩護並ニ追加陣地

馬

月二十九日

月曜日

高嶺

高嶺の位置は、第一師団司令部北方高地南側、  
 中隊司令部陸地増設センター、  
 第九中隊司令部陸地増設センター、  
 新第一中隊司令部陸地増設センター、  
 各隊司令部要所兵力増強、以テ第九中隊ニ協力  
 指示  
 四橋等ノ細部ニ関シテハ、指揮班長ヲ以テ指示  
 五カニ  
 五、高嶺下隊本部ニ在  
 陸上指揮官第九中隊命令  
 中隊司令部ニ作命甲第一七号ニ其ニ作業隊ヲ  
 以テ右高地北方高地南側ニ新第一中隊司令部ノ  
 陣地ヲ構築セントス

以テ構築資材蒐集並整備ヲ完了シ新陣  
 地ノ構築作業ニ着手ス  
 構築中ノ細部ニ関シテハ、指揮班長ニ指示ス  
 日直士官 松下軍曹  
 同下士官 畑軍曹  
 一喜加敷我如口ニ於テ陸地構築作業ノ野々  
 口ニ付テハ全方、第一九、一、木ノ天聲減ノ  
 意気ニ燃ハ其完成ニ向テ進セリ  
 本日現在ニ於テ陣地構築作業進捗状況  
 別紙ニ示ス  
 中隊陸軍病院ノ陸地ノ武井軍曹本日退  
 院後歸郷ス  
 本日ノ人員 將校三、准下一九、兵一〇八

馬

馬 十七頭

日三

日直

火曜

日直

村上准尉

高嶺

同 下三馬

松尾伍長

高嶺

陸軍少曹 大西義男 迫擊 第三聯隊 轉屬

又

陸軍少曹 大沼其天 第三師團 第三十二聯隊

日 轉入

同 入 騎 隊 三 連 十 二 日 兵 一 〇 八

馬匹

馬 十七頭

日三

日直

水曜

日直

松下軍曹

高嶺

同 下三馬

山本軍曹

長作吉 陣地工事進捗状況

球第一三四二部隊

高嶺

同下士高

山本軍曹

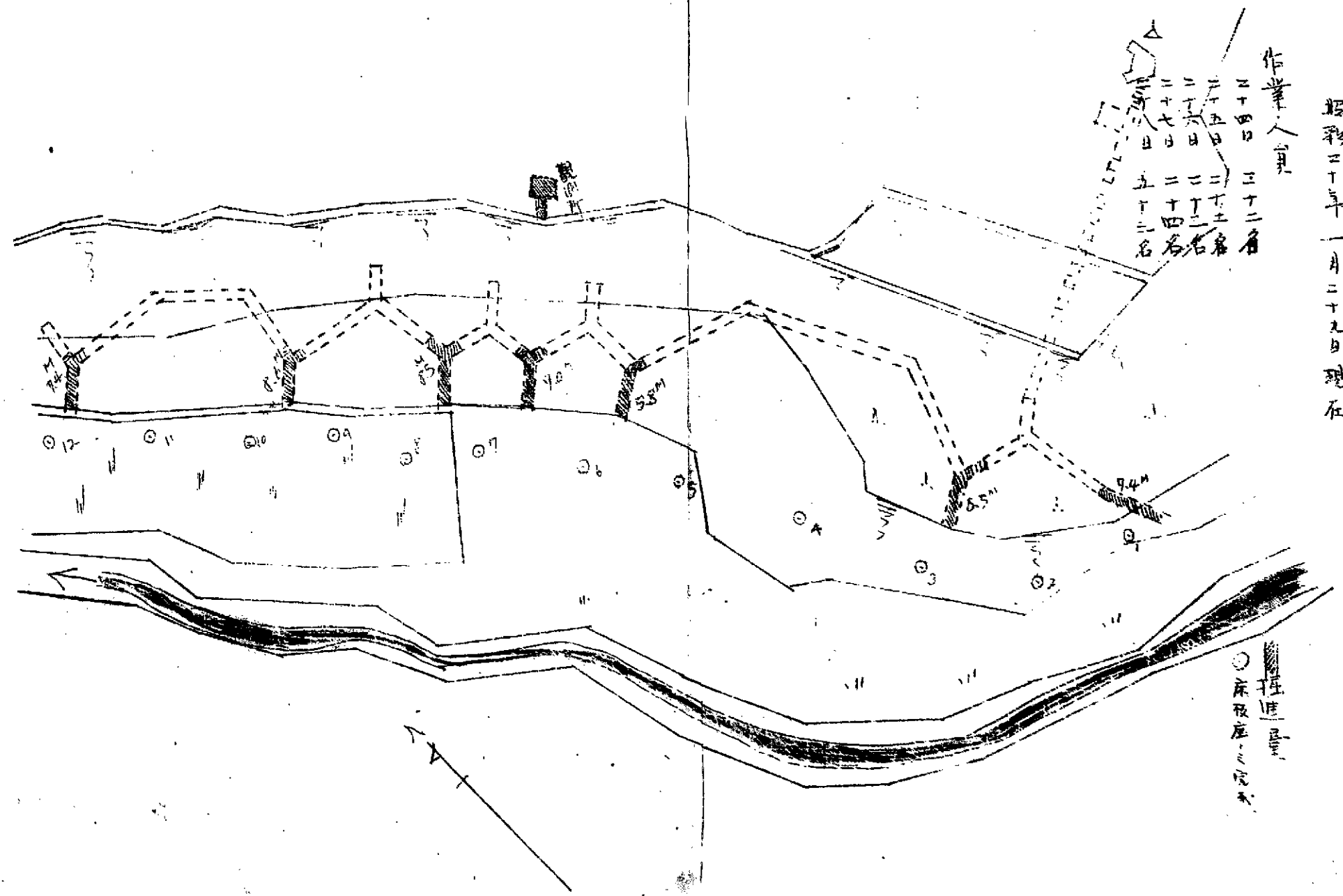
六ヶ所古陣地工事進捗状況

昭和二十年一月二十九日現在

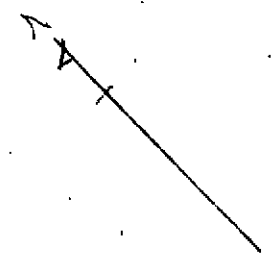
球第一三四二部隊

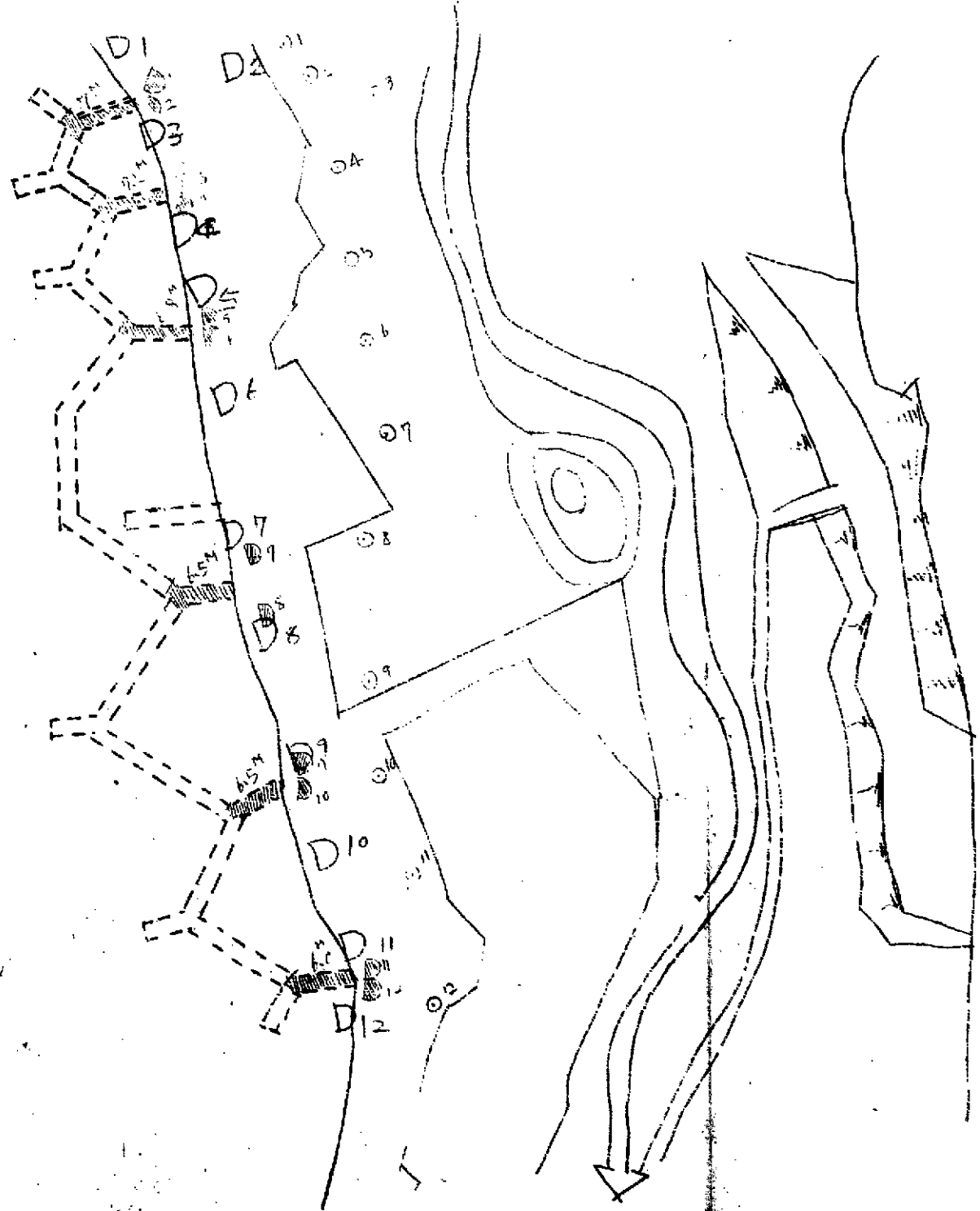
作業人員

二十四日	三十二名
二十五日	三十三名
二十六日	三十二名
二十七日	二十四名
二十八日	二十三名



○ 作業人員  
 □ 球第一三四二部隊

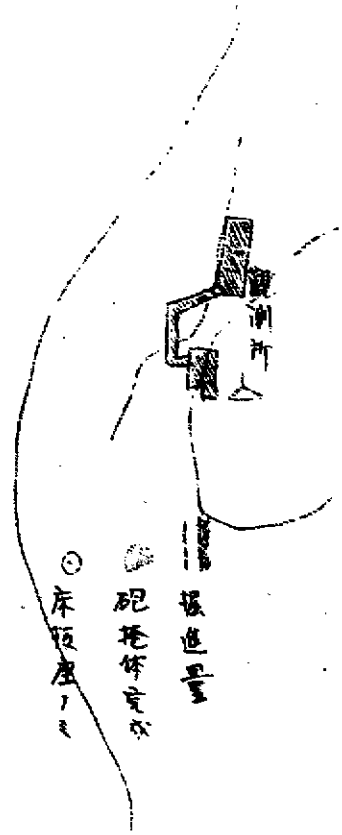




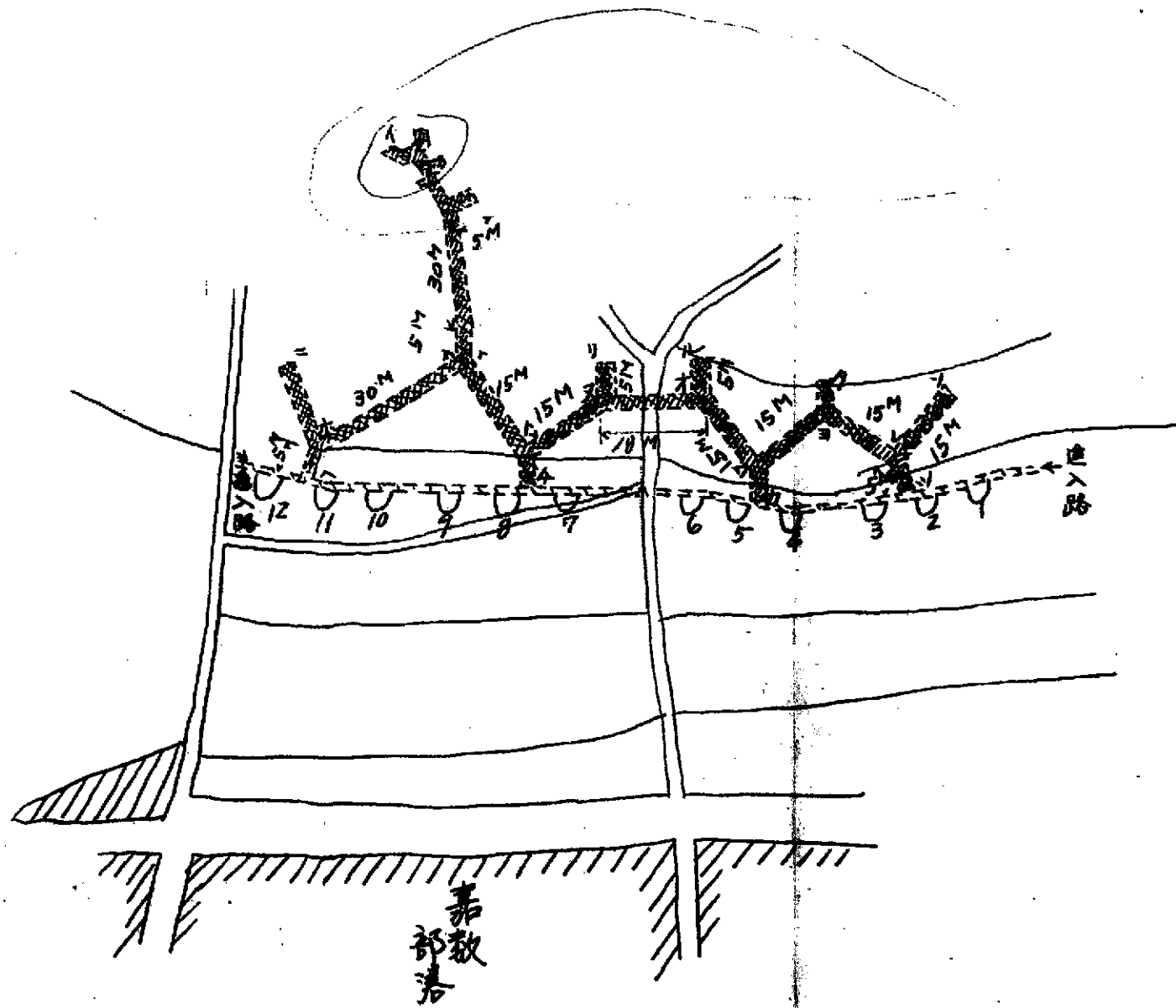
1  
517

作業人員	
二十四日	二十二名
二十五日	二十三名
二十六日	二十七名
二十七日	二十二名
二十九日	十三名

意致陣地上軍進持狀況  
昭和二十年一月二十九日現在



球第一四四二部隊

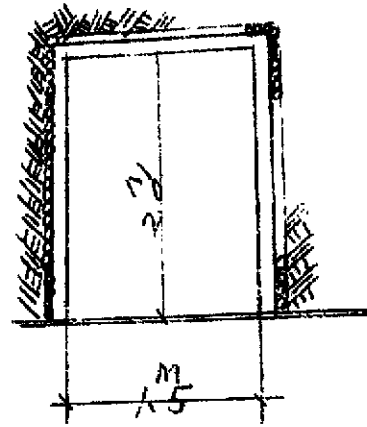


嘉教陣地要圖

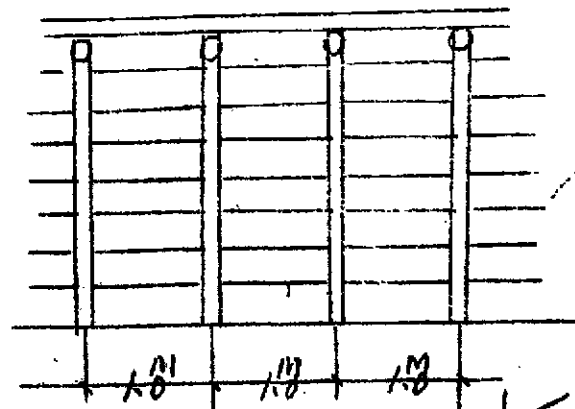
球第一二四四部隊

壕坑道  
 交通壕

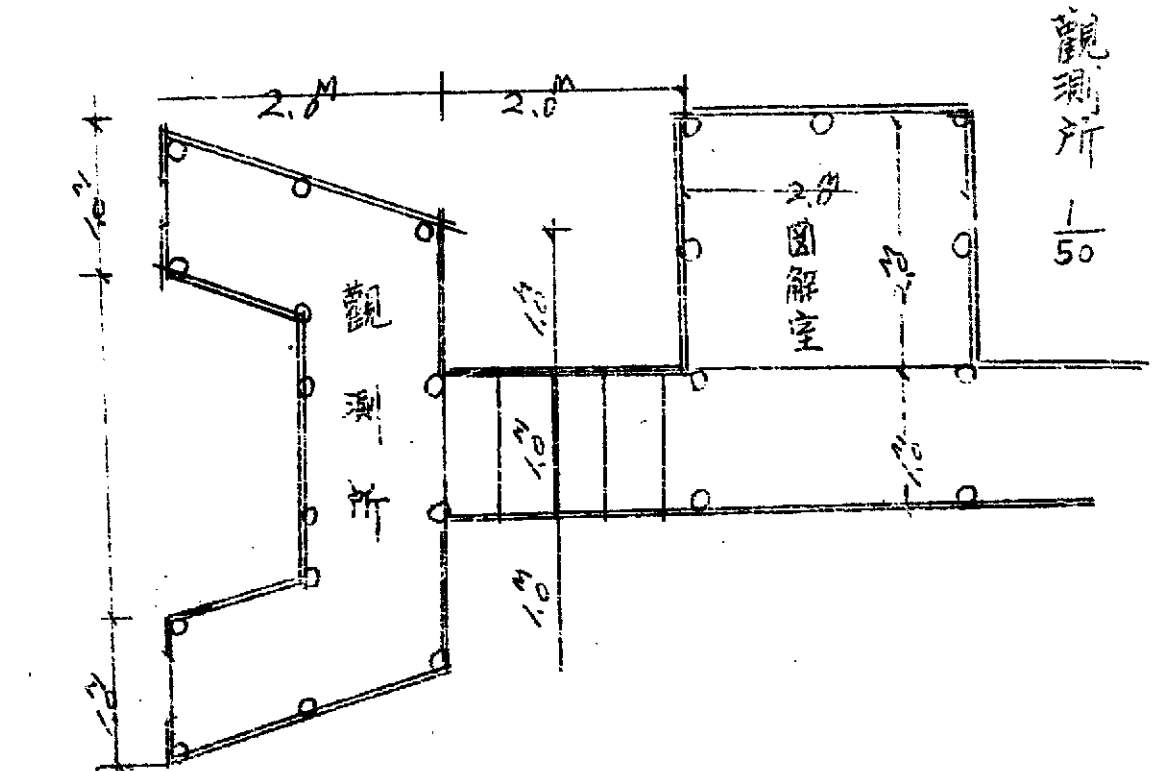




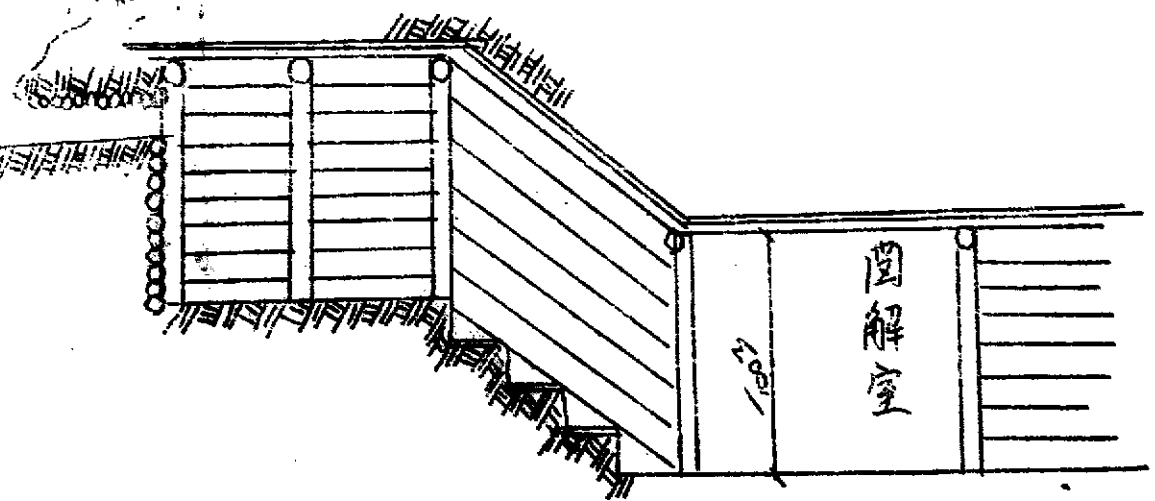
掩蔽部坑道断面 1/50



坑道縱断面 1/50

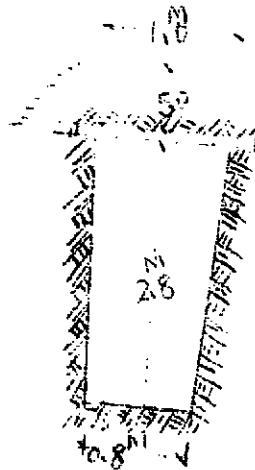


觀測所 1/50



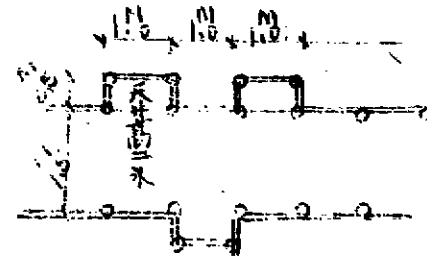
掘削面

縦断面



横断面

交通壕 1/50



掘削面 1/50

掘土量

坑道  $3m \times 3.26m = 978m^3$

掘削面  $28m^3$

交通壕  $1.6m$  (全長)

$1.6(m) \times 145 = 231.9m^3$

砲掩体  $11m$

$11.15m^3$

$11.15 \times 12m = 133.5m^3$

砲土量

坑道  $978m^3$

$\Delta$   $28m^3$

交通壕  $231.9m^3$

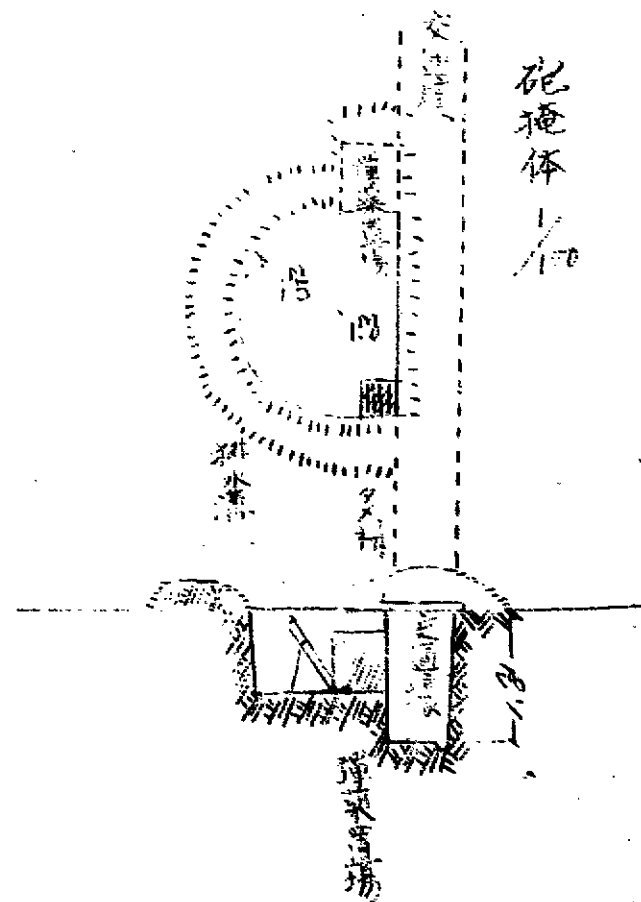
砲掩体  $133.5m^3$

計  $1371.4m^3$

ウーハ	30
ニ一ハ	15
ホ一ハ	5
ホ一ハ	30
ハ一ト	15
ト一ト	5
ト一又	15
又一リ	5
又一才	1.8
ル一才	5
オ一ウ	15
ウ一ヨ	15
ウ一ヨ	5
ウ一レ	15
ウ一カ	5
レ一ツ	5
レ一ッ	15
ネ一+	5

326M

砲掩体 1/50



觀測所

直柱 15x210x24

項材 15x150x12

抗道

直柱 15x210x680

項材 15x150x340

交通壕 掩覆用

9 x 150 x 1500

側板 項板 1代用ト丸太ヲ使用ス

9 x 210 x 938.5

總所要材

15x210x704 } 1016本  
15x150x312 }

9x210x938.5 } 10885本  
9x150x1500 }

總掘土量

1371.4<sup>m<sup>3</sup></sup>

旧作業人員

40名

旧平均掘土量

9.72<sup>m<sup>3</sup></sup>

所要日數

142日

所要人員

5680人時

作業人員 將校一 下士官二 兵四〇名  
 資 材 同是火 三〇 小一〇 番八

大十字鋸 一六 爆破用鑿 三組  
 石鑿 一〇 ダイヤモンド 五〇 瓦

作業期日

昭和二十年一月三十一日

作業順序 掩砲所 觀測所 砲掩体 掩蔽部

資材補充及工具修理ニ関シハ大隊本部ニ經テ之ヲ實施ス

要

地精築作業計画ニ其ノ三の敷北ノ高地南側  
 陣地ノ精築作業ニ着手ス  
 村上近尉 賀敷陣地ニ於テハ作業進捗状況視  
 察ノタメ一三〇。高山嶺陣地出發一七〇。歸隊ス  
 中隊自治農園ニ其ノ後着々進捗シ本月ニ入ッ  
 テ既ニ蔬菜類五十母具程度ノ收穫ヲ得テ  
 今後ノ成績ニ關シニハ期シテ佳ク可キモノアリ  
 二大本軍曹 馬事掛下士 呂教育專修員トシテ  
 球第九七〇。部隊ニ出張スルム  
 本日ノ人員 將校三、在下二〇 兵一〇八  
 馬匹 魏馬 十七頭

新見

一月六日來、第二次連地礦採作業に於ては、餘我如古、嘉  
敷ノ三津地ノ工事ニ着手シ、月余ノ出テスニテ、概  
成ヲ見、地味ノ大、地氣旺盛ナルヲ如、要員ニ現示セ  
ルハ誠ニ欣快ナリ

作業、今般ヲ通シ、坑道堀開作業中、最モ注意スベキハ  
落盤ナリ

落盤、從來、體験ヨリ見、岩等ニテハ、夜間最モ  
多シ之氣温、高低ニ因ルモノナリ、晝間ハ氣温高キタ  
メ、岩盤、切目、隙、密着シ居、トモ、夜間、氣温下ルニ  
シ、岩盤、切目ニ隙、生シ、落盤スルニ至ル、之ガ、爲、粘  
板、岩等ノ土質ニアリテハ、夜間作業等ハ十分ナル注意ヲ要ス

二月二十日、少佐龍巻二階にて、部隊、兵員、器材、何等、損傷  
ナク、冷静沈着に作業を續行セリ  
但し、カーキスガウマン等ニアリテハ、爆音ニ依リ、彼我、判別  
至難ニシテ、之ガ判別、機影ニ依リ、サシヲ得ズ、之ガ教育  
ノ為、機種別、模型等ヲ、試作部隊ニ配當セラルシム  
コト望ム

以上



